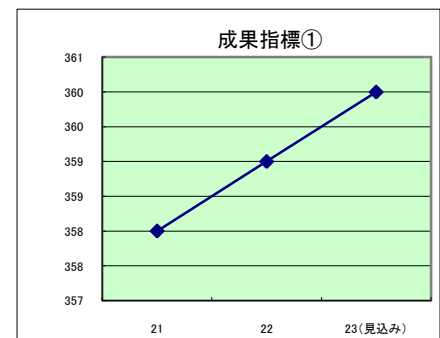
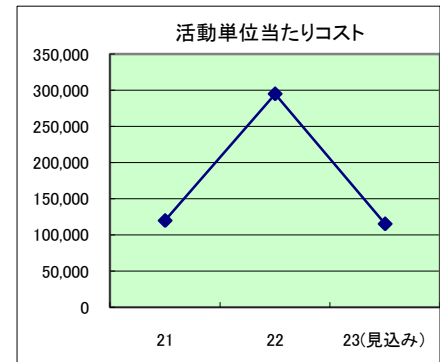


事務事業名	陵南の森総合センター施設管理事業		会計	1	一般会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	5	信頼に基づく市民とともに作るまち	款	3	民生費
	施策(節)	3	行財政運営	項	1	社会福祉費
	施策の方向			目	11	陵南の森総合センター運営費
				事業	1	陵南の森総合センター施設管理
関連する計画等			作成部署	保健福祉部福祉支援課 (陵南の森総合センター)		
事業の目的	対象(誰を・何を) 陵南の森総合センター施設の建物及び設備 意図(どういう状態にしたいのか) 広く市民が、安全・快適に利用できるよう施設機能の維持向上を図り、災害時には、避難場所として適切に運営できるよう管理する。		連絡先	072-958-1111	内線 5500	
事業の内容	陵南の森総合センター(陵南の森老人福祉センター、陵南の森公民館、陵南の森図書館、陵南の森運動広場)全体の施設建物及び設備の日常的な点検・維持修繕及び長期的視点に立った改修工事など。また、施設全体で共通して管理する必要のある光熱水費の支払い・保守管理業務の委託等の事務。 なお、平成22年度においては、国の地域活性化・きめ細かな臨時交付金を活用して、屋根全面改修、天井・壁クロス張替、2階テラス防水改修、自動扉修繕等を実施した。					
根拠法令等	羽曳野市立陵南の森総合センター条例					
事業開始時期	☒ 昭和 58 年開始 ☐ 平成 ☐ 明確にはわからない ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている		終了年度	平成	年度	
事業開始時からの状況変化	建設から28年以上経過し、機械設備の老朽化・旧型化により補修部品が調達できないなど、設備の入れ替えの必要性がでてきている。また、建設当時想定外であったバリアフリーへの対応、IT化等へ向けた改修が求められている。					
市民や議会の要望						
実施手法	☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先	☒ 市外郭団体委託 名称(シルバー人材センター)		委託内容	シルバー: 清掃、夜間・休日の施設管理 民間委託: 専門知識の必要な施設保守管理		
	☒ 民間委託 ☐ その他					

区 分		21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (見込み)
事業費【1】	(千円)	34,707	99,495	36,163
人件費【2】	(千円)	8,250	6,360	5,400
職員数				
正規職員		1.10 人	0.85 人	0.60 人
再任用職員		0.00 人	0.00 人	0.40 人
嘱託職員		0.00 人	0.10 人	0.10 人
臨時職員		0.00 人	0.00 人	0.00 人
超過勤務(参考)	(時間)	3.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】	(千円)	42,957	105,855	41,563
財源内訳				
国費	(千円)		65,996	
府費	(千円)			
市債	(千円)			
その他(手数料・使用料等)	(千円)	2,090	1,438	1,290
一般財源	(千円)	40,867	38,421	40,273
活動指標(事業の活動実績)【B】	単位	21年度	22年度	23年度(見込み)
① 年間施設使用可能日数	日	358	359	360
②				
③				
活動単位当たりコスト(【A】/【B】①)		119,992 円	294,861 円	115,453 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		361 円	897 円	352 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名	単位	指標設定の考え方	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	① 日常的保守管理による施設性能維持効果(式)	日	老朽化の進む施設を年次計画を持ち改修。設備の故障等による臨時休館を回避(平成21年度は、全館停電による電気設備点検年のため、年末年始以外に1日間休館)	目標 358 実績 358	359 359	360
	② (式)			目標 実績	達成率(%) 100.0%	
					達成率(%)	

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	構成施設がすべて市直営であり、施設機能等の質について複数の法令で水準が規定されている。また、緊急時に避難場所として円滑な運営が求められているため。

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	直接市民ニーズがある業務ではないが、各構成施設は非常に利用者が多いため、施設運営上必要最低限の管理項目である本事業を縮小、休止等した場合、最悪、長期休館となる可能性があり、影響が大きい。建設から２８年以上経過するため、バリアフリー化や、ＩＴ対応等の分野に対してはさらに推進する必要があると思われる。
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
		社会情勢の変化に対応している	☐	☒	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☐	☒	☐	
		国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
		事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
		緊急性が認められる	☐	☐	☒	
	効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☐	☐	☒	受益者負担については、各構成施設が、それぞれ運営内容を定めており、総合センターとして直接徴収する立場にない。現在は、年末年始以外休館日が無いため、修繕を夜間等の割高な日程で組むしかなく、週１回休館日を設けること等により、施設の修繕もしやすく、光熱水費等のコスト抑制、設備の延命を図ることができるなど、事業費の削減はできると思われるが、利用者ニーズを踏まえた慎重な対応が求められる。
		受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		簡略化できる方法や手段がない	☒	☐	☐	
		市の他事業と重複していない	☐	☐	☒	
		民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☐	☐	☒	
	有効性	上位の施策(目的)が明確である	☐	☐	☒	施設利用者がスムーズに活動できるよう、修繕項目の優先度を見極める等しているが、複合施設であるため、対象が保健福祉部、生涯学習室両部門にまたがり、上位施策が判然とし難い。
		上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☐	☐	☒	
		成果を向上させる余地がない	☒	☐	☐	
		市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☐	☐	☒	
		事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☐	☐	☒	
		事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☐	☐	☒	
		事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☐	☐	☒	
	達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	平成２２年度の改修工事により、施設機能は改善され、利用者がより安全・快適に施設を利用できるようになった。
		成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	
		成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当部局評価	総合評価	
	☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	陵南の森総合センターは、不特定多数の市民が気軽に利用できる施設であるため、年間計画により維持管理、運営を実施している。また、緊急を要する設備修繕には利用者の理解を得ながら適宜対応しているが、老朽化により、修繕費が上昇傾向にある。	
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	
	施設・設備の老朽化が進んでいるため、計画的に改修を実施していく。	
行革本部評価	総合評価	
	☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
行革本部評価	評価理由・意見	